

令和七年広島県支部春季俳句大会成績

日時 令和七年四月二十七日

会場 広島市中央公民館

高得点

リラ冷えや獄に手擦れの宗教書	小郡 妙子
跡継ぎの嬰を真中に桜鯛	大上 充子
溶けさうな笑顔が形見鳥雲に	水田 博子
空席に春日を乗する芸備線	山本 清司
ふんはりと透明ラップ春惜しむ	水口 佳子
光りつつ小鮎列なす魚梯かな	岡田眞利子
村の温泉に役者のぼりの立ちて春	藤谷 知子
竹皮を脱ぐや更地となる生家	水内 和子
葉桜や空へ産衣の翻へる	水田 博子
母の日や母に言はるるありがたう	岡田 康子
空家めく門扉半開著我の花	鷺見 葦月
街道はかつて切り岸羊齒若葉	大島 文子